



高梁川流域
CROSSING

くらしき協力隊通信

2024.4 Vol.24

【今年もタケノコのシーズン到来！】

みなさん、こんにちは。

真備地域おこし協力隊の吉田です。

今年も真備町に良い季節がやってきました。

そうです「タケノコ」です！

タケノコのシーズン到来ということで、今年も私の主催イベント「タケノコ掘り体験」を行いました。

2回目の今年はずんなりといくと思いきや、想定外の連続したイベントでしたので、ここでご報告させていただきます。



【今年は想定外の凶作！？】

4月に入った直後くらいから、ポチポチ掘る練習でもするかと竹林の整地も兼ねて見回りをしていると、おかしなことに気づきました。

タケノコがない…。

ちょっと気が早かったかなと、数日見て回っても全然生えてこない…。

練習どころかイベント自体どうしようと考えてしまうほど深刻な状態でした。真備町に数十年来住まれている方に、話を聞いてみると去年の夏（8月）に雨が振っていないことが原因らしいですね。

少しずつは生えてきていましたが、一日で採れる量はかなり少なく。

それでも去年のイベントが盛況だったこと、今年も反響があったことから、竹林の様子を見ながら、タケノコが生えてくれることを願って、イベントは開催する方向で進めておりました。



【今年の反響は想定外】

今年はとてもありがたいことに、募集の段階でかなりの反響がありました。

去年イベント参加していただいた方からの問い合わせはもちろん、広報に力を入れたおかげか新規の方からの問い合わせもあり、かなりの応募数でした。

今回は、FM倉敷の番組に出させていただいたり、「倉敷とことこ」さんに取材をしていただいたりと、メディアを通しての広報にも力を入れていたのですが、「倉敷とことこ」さんの記事がヤフーニュースに掲載された結果、一晩で定員の3倍くらいの応募数になりました。

そもそも、まさかヤフーニュースに載るとは思っておらず、朝確認した時は何事かと思い、真備町内の方々からヤフーニュース見たよと言われるまでビックリしたままでした。

【いよいよイベント本番！】

イベントへの応募数は想定外に増えていましたが、肝心のタケノコがいつまでたっても生えてこず。

最悪の場合、中止になるかなと思っていたところ、今回の共催していただいた倉敷市真備町緑化協会の竹部会のメンバーの方の竹林であればタケノコが生えてきているというので、ほぼイベント直前のタイミングで会場を変更。なんとか本番には来ていただいたお客さんにお土産を渡せるくらいタケノコを掘ることが出来ました。

当日は天候にも恵まれ、ケガやトラブルもなく無事に終えることが出来ましたし、お客さんも大変喜んでくださったようでした。今回ばかりは色々準備の段階でやる事や、不安な事がかなりあったのでとてもホッとしたのを覚えています。

イベントではケーブルテレビの取材もありましたし、お客さんの楽しそうな顔を見ていると今回もしっかりと真備の魅力を多くの人に少しでも伝えることが出来たのかなと感じております。



【編集後記】

今回は、予期せぬトラブルで色々大変でしたが改めて自然を相手にすることの難しさを痛感しました。しかし、メディアでの露出を通して自分の活動が少しずつ色々な人から認知をしてもらっているという実感も湧いてきました。

自分の協力隊としての活動も残り一年を切りました。これからは活動の形を残せる様にそのまま事業化を目指していこうと思います。また、協力隊通信を通してご報告出来ればと思います。

倉敷市真備町協力者 吉田

インスタのリンク https://instagram.com/yoshi_masa3?igshid=YmMyMTA2M2Y=



@YOSHI_MASA3